



artspace & café アフタヌーンコンサート

# シタール + タブラー and 太古の響器

## 2019.9.14 (Sat) 14:00

前売り券：1,000 円

当日券：1,200 円

※ワンドリンク付き

(水出しウーロン茶 or 水出しアイスティー)

※お問い合わせは artspace & café まで！



artspace & café

〒326-0053 栃木県足利市通2丁目 2658

Tel : 0284-82-9172

E-Mail : info@artspace-and-cafe.com

シタールは北インドの伝統的な弦楽器です。この楽器はビートルズを始め様々なジャンルのミュージシャンに多大な影響を与えてきました。よく知られた演奏者としてラヴィ・シャンカルを上げることができますが、ラヴィはビートルズのジョージ・ハリスンの師匠であったことでも大変有名です。

今回のコンサートでは、インドでシタールの演奏を学ばれた小日向英俊さん、インドの伝統的な打楽器タブラの奏者、逆瀬川健治さん、そして足利で陶器を素材とした楽器「太古の響器（ひびき）」を作り続けてこられた造形作家、篠崎孝司さんに演奏をお願いしました。

コンサートの中では、それぞれの楽器についての簡単な解説もお願いしています。これらの楽器の音色の美しさ、そして3名の奏者による自由なコラボレーションをぜひお楽しみください。

artspace & café 岩本圭司



シタール演奏：小日向英俊 (Hidetoshi KOBINATA)

1980年 国立音楽大学楽理科卒。1987年インド国立パナラス・ヒンドゥー大学大学院修了 (M. Phil. Musicology)。

学生時代には、さまざまな現代音楽に興味をいどく。1977年よりスシュマ・オマタ、1982年よりクリシュナー・チャクラヴァルティの各氏にシタールを師事。

さまざまな大学で世界音楽を講じる傍ら、シタール演奏、執筆などを行う。

主著に『インド パナラス音楽歳時記』(1992年)、2005年にはソロ・アルバム

「月明かりの下で Under the Moonlight」をリリース。現在、東京音楽大学客員教授 (音楽学、シタール)。

Web: [musinglobe.com](http://musinglobe.com) 主催。



タブラ演奏：逆瀬川健治 (Kenji SAKASEGAWA)

1978年より85年まで、インドのカルカッタ (現コルカタ) で、タブラの巨匠、パンディット・マハブルシュ・ミシュラ氏に師事。

タブラの奏法と北インド古典音楽のターラ理論 (リズム理論) の基礎を学ぶ。

1981年 帰国後、タブラ奏者として、北インド古典音楽をはじめ、

さまざまなジャンルの音楽家、舞踊家、アーティストとの共演を続行中。

音楽大学など教育機関でのレクチャー、タブラクラスでは後進の指導も行う。

2001年 初めてのリーダーアルバム「にぎみたま」を発表。

現在、洗足学園音楽大学ワールドミュージックコース講師

Web: [http://souhadou.music.coocan.jp/souhadou\\_web\\_site/](http://souhadou.music.coocan.jp/souhadou_web_site/)



太古の響器 (ひびき) 演奏：篠崎孝司 (Takatsukasa SHINOZAKI)

1951年 足利市に生まれる。1974年九州産業大学芸術学部美術科卒。

1993年より2000年まで、館林市スペースUにて毎年個展開催。

1997年 群馬県みどり市童謡ふるさと館にて個展。

2002年 桐生市有鄰館にて有鄰館芸術祭参加。

2003年 足利市立美術館「西アフリカ展」にて特別展示

2007年 川越市立美術館にてタッチアートコーナ展示と「太古の響き」ワークショップ。

2009年 新潟「土と水の芸術祭」舞踏家小林嵯峨とコラボ演奏。

2010年 栃木県立美術館にて「イノセンス」演奏

2012年 館林市立美術館「中央関東の現代美術 館林ジャンクション」